

## 令和7年度 福岡県農業大学校外部評価目標及び実績

評価テーマ	福岡県農業の次代を担う「人財」の育成
重点目標	先進技術と高い経営感覚を備えた新規就農者の育成確保及び農業・農村社会の発展に貢献できる人材の育成
目 標	1 卒業生・修了生の新規就農割合 65% 参考 農業教育高度化事業計画(国庫)における目標値 60% 農水省政策評価数値目標 令和7年度目標農大卒業生就農率57.5% 全国農業大学協議会「全国農業大学等の概要」令和5年度全国農大卒業生の就職率実績 52.8% 2 卒業生・修了生の就農・就職率100%
実 績	1 卒業生・修了生の新規就農割合 51%・・・R8年03月卒業生実績 (養成科 卒業生46名中農業従事者21名 自営就農(5)、就農前研修(1)、雇用就農(15))、研修科 卒業5名 自営就農(4)、就農前研修(1) 合計(5+1+15+4+1)/(46+5) 2 卒業生・修了生の就農・就職率 100%・・・R8年03月卒業生実績 (養成科46名中 就農21、就職24、進学1、研修科5名中4名就農、1名就農前研修 (21+24+1+4+1)/(46+5))

	R7年度取組	R7目標	R7実績
養成科	1 学生の確保		
	①ホームページを活用した情報発信	記事掲載数 月1回(年12件)	・記事掲載19件(4月～2月)。学生募集、入試結果、イベント情報等情報提供。
	②学校訪問の実施	訪問校約50校 (6月～7月)	・県内高等学校166校の中から農業(系)高校、学生の出身校、進路ガイダンス参加校、オープンキャンパス参加実績等を中心に52校を選び訪問。進路担当教諭等に本校の特長のPR、学生募集案内説明、意見交換等を実施。 ・農業高校教育研究会をはじめ農業高校との連携の場に校長が出席し情報提供。
	③高校進路ガイダンスへ参加(農大の概要説明、PR)	13回(前年実績)以上	・8校、11回、参加人数延べ109人
	④オープンキャンパスの開催	3回(7月に2回、10月に1回)	・夏季2回(7/13(日)、7/26(土))、秋季1回(10/4(土))開催。
	⑤就農をめざす農業高校生の確保(農業経営就業支援:Far夢プランの開催支援)	2回・計45名(前年実績以上)	・2回実施・計31名参加 10月21日 高校1年生を対象に県内の先進農業施設、先進農家を視察研修(15名参加) 12月 2日 高校2年生を対象に農大での実習体験、若手農業者3名の講話及び意見交換を実施(16名参加)
	2 就農・就職に向けた意識啓発、意欲向上		
	①定期的な進路希望調査の実施と進路支援	1年次2回、2年次1回実施	・1年次2回、2年次1回実施
	②農家留学研修の強化	全学生(1年次)	・1年生全学生実施(36名)
	③先輩農業者の講話による就農意識の向上	かきうら「先輩農業者に学ぶ」(8時限・1単位)の実施	・8時限、1単位実施
	④インターンシップの充実・強化	20名(法人・総合コース1年生全員実施)	・法人・総合コース1年生20名全員実施
	⑤国際農業者交流協会との連携	1回	・1回実施
	3 就農・就職につながるスキルアップ		
	①農業新技術の理解促進	講義「農業新技術(DX)」実施 DX施設・機材を活用した栽培管理の取組	・講義:農業新技術「DX」 DX施設・機材を活用した教育推進(DXハウス、GPSトラクター、環境測定装置等)スマート農業機材の展示イベントへの参加等によるスマート農業技術への理解促進 スマート農機やスマート農業の取り組みについての座学や演習による学生の理解促進
	②農業経営への理解促進、実践力強化	講義「農業経営概論Ⅰ、Ⅱ」、演習「経営演習」受講者全員単位取得 「農業簿記検定」受講者全員単位取得 農業簿記3級合格率6%【昨年実績以上】(養成科2/37=合格率5.4%)	・講義:計画どおり実施 ・農業簿記 養成科2年39名受験 2名合格 合格率 5.1%
	③労務・雇用管理への理解促進	講義「労務管理」全員単位取得	・講義:労務管理受講者全員単位取得
	④GAP(生産工程管理)の導入拡大	改善項目数各コース3項目以上	・改善項目各コース3項目以上達成
	⑤技能チェックリストの活用	各専攻実施	
	⑥加工実習の充実	各専攻実施	・各専攻実施
	⑦雇用就農に向けたスキルアップ		・演習:将来設計ゼミ受講者全員単位取得
	⑧各種資格・免許取得支援	合格率R6実績以上 【R6実績】大特:51/52名(取得率98%)、けん引:28/38名(73.7%)、フォークリフト42/42名(100%)、小型建機:39/39名(100%)、ドローン講習6/6(100%)、危険物 4/54(7.4%)、毒劇物 2/19(10.5%)、福岡県家畜商検定2/2(100%)※家畜商試験は毎年、家畜体内受精卵移植講習と家畜人工授精士講習会は隔年実施	・各種資格、免許所得の他、就農に必要なスキルとして演習「農機整備講習」で刈払機、トラクターの操作方法・点検整備、エンジンの点検整備について学習。 大特98%(39/40)98%、けん引(41/44)93%、フォークリフト(39/39)100%、小型建機(40/40)100%、ドローン(15/15)100%、危険物(2/34)6%、毒劇物(1/15)7%、家畜商(1/1)100%、人工授精士(4/4)100%、10%農業技術2級(2/15)13%、農業技術3級(19/21)90%、
	⑨農産物の販売拡大		・専攻実習等を通じて生産する農産物の販売拡大に取り組む(JA直売所、校内販売、近隣の商業施設での対面販売、県庁ロビーでの販売等)
	4 就農機会の拡充		
	①就農相談会への参加	参加者数 2名(自営就農志望者)	・参加者数 4名(自営就農希望者)
	②県内インターンシップ受入農業法人のリスト化等	受入経営体リスト化	・既存リストを見直し、194経営体に拡充
③農業経営者との交流会(雇用就農)	2回	・2回実施(農業法人協会、JAグループ)	
④農福連携の取組み	6回	・6回(①7/10、②8/6、③10/24、④10/29、⑤1/28、⑥2/12)	
研 修 科	1 福岡地区、北九州地区等の就農相談会への参加 ・後継人材育成室主催の相談会等に参加	参加回数 2回	・相談会2回参加(10/12福岡、1/17福岡) (相談会参加者141名、農大ブース対応14名(うち1名R8年度受講))
	2 先進農家研修の充実 ・就農につながる研修を実施	研修生 6名	・研修生5名が研修実施
	3 普及指導センター及びOBとの連携強化 ・就農にあたって普及センター、OBへの相談	相談 延べ 10名	・研修生延べ37名が実施
	4 就農を目指し、学校外部等との連携強化 ・政策金融公庫、県内市町村、JAからの新規就農情報提供	研修会 3回	・研修会 6回実施
	5 入校希望者に対する個別相談 ・普及指導センターと情報共有、研修希望者への対応	相談件数 10件	・相談件数 28件
	6 その他 ・就農に向けたスキルアップ)		・実習技能チェックリストの活用、研修科体制の見直しに係る検討実施